

研究構想シート		学校名	雲南市立加茂小学校
		氏名	武田 亜紀子
A 研究主題 特別支援教育の視点に立った授業づくり ～どの子ども「分かる!」「できる!」を実感できる授業を目指して～			
B 研究の目的 教員一人一人の授業力向上、児童の学力向上を目指し、特別支援教育の視点に立った授業の在り方について検証する。			
C 子どもの実態  【子どもの実態】 ・不登校・不登校傾向児童の増加 ・学力低下・学力の個人差 ・通常学級において配慮の必要な児童の割合が高い  【学校の実態】 ・特別支援学級の増設 ・初任者・フォローアップ研修の充実	E 手立て・内容（研究仮説）  特別支援教育の視点を通常の学級の授業づくりに生かすことは、特別な支援を必要とする子どもたちだけではなく、すべての子どもたちにとって「分かる・できる」授業を構築できるであろう。		D めざす子どもの姿  か かも だいきな子 も もりもり げんきな子 の のびのび やさしい子 こ こつこつ まなぶ子  ☆一人一人が安心して学べる ☆「できた」「分かった」「楽しい」を実感する ☆見通しをもち、自ら学びを進める ☆自ら挑戦し、粘り強くやりとげる
	F 検証方法  (1) 自分の授業の課題を明らかにする。 (2) 研究構想シートを作成する。 (3) 改善するための具体的な取組を学年間で共有する。 (4) 授業改善の実践を積む。(初任研の見学研を兼ねて、授業を公開する) (5) 実践の共有、振り返り		
	G 研究計画  【1学期】課題を設定する(個人)・・・研究構想シート作り(5・6月) 【年間】実践を積む。見合うことで学ぶことは多い。(年間) 年間2回の公開授業(うち1回は初任研見学研授業)と普段の授業実践。 指導案は、初任研見学研の様式に「特別支援教育の視点」について明記。 PDCAサイクル(事後の振り返り・中間の振り返り) 【夏季休暇中】出前講座の研修から学ぶ。 【3学期】省察(リフレクション)、課題研究のミニ成果発表(共有)(2月) 研究集録(実践事例集、考察)(2月)		